

科目名 (科目番号)	小児看護学実習 (074243)	教員名	山縣 香織	学科等	看護	必修	履修年次	4
				曜日・時限等	実習		単位数	2
				オフィスアワー		山縣研究室		
授業概要	<p>保育園実習・障がい児施設見学および病棟実習・小児病棟実習の3つから構成されている。保育と小児看護が行われている場に臨み、小児看護の対象および小児看護における看護職の役割について体験的に学び、小児看護の基礎的実践能力を養うことを目的とする。「保育園実習」では、保育園で子どもと一緒に過ごしなが、体験と知識を関連づけ、健康な子どもの成長発達や子ども生活の特徴を学習する。「障がい児施設見学実習」では、障がい児一人一人のニーズに応じた療育の実際を理解するとともに、看護師を学ぶ。「障がい児施設病棟実習」では、病気と共に生活する子どもの、成長発達や健康状態に適した看護を学習する。特に、子どもと家族が相互に影響しあうことを考慮した看護の重要性について理解を深める。</p> <p>関係する垂直軸：看護、健康の状態、人間の理解、コミュニケーション</p>							
準備学習								
授業計画	回	到達目標・学習内容						
	1	1. 保育園実習(保健師選択コース以外の学生) 到達目標：健康な子どもの成長・発達、また集団の中における子どもの生活の理解とそれを支援する援助が理解できる。						
	2	学習内容：保育士の子どもに対する関わりの意図を考えながら、保育活動に参加しつつ、子どもの様子を観察する。また、学内でのグループカンファレンスを通し、発達段階に添って、どもの成長発達および生活を整理し、実習内容を統合する。						
	3							
	4	2. 障がい児施設見学実習(保健師選択コース以外の学生) 到達目標：障がいのある子どもの特性およびニーズに応じた療育の実際を理解することができる。同時に医療・教育・福祉の連携について理解することができる。						
	5	学習内容：障がい児施設のスタッフによる体験発表を聞き、議論を行う。また、各機能別病棟及び訓練部門にて、療育の実際を見学する。						
	6							
	7							
	8							
	9							
	10							
	11							
	12							
	13	3. 障がい児施設病棟実習(保健師選択コースの学生) 到達目標：障がいのある子どもの特性とニーズに応じた療育の実際を理解したうえで、子どもの人権に配慮し、患児に適した方法で実践できる。また医療・教育・福祉の連携について理解することができる。						
	14							
15								
成績評価の方法・基準	小児看護学実習要項の評価表に基づき評価する。							
教科書								
参考図書								
教員からのメッセージ	病気や障がいを持った子どもたちも、健常な子どもたちと同様に、日々成長発達していることを忘れないでください。そして、常に子どもや家族から学ぶ姿勢を大切にしてください。座学の学びが実践につながられるように、個々の学生と向き合います。							